

生物多様性

ICTでGreen (Green by ICT)

| 取り組み |

基地局設置における生物多様性への配慮

KDDIは、基地局の建設では、省エネ化とともに生物多様性への配慮にも注視しています。たとえば、オオタカやコウノトリの営巣・産卵期と建設時期が重なる時は、自治体や環境保護団体と協議して建設を遅らせたり、希少な植物が生息している場合は環境省の指導で移植や植林をするなどの対応を行っています。さらに、競走馬や乳牛などが工事の音で出産・種付け・搾乳などに影響が出ないように、杭打ちの打撃音がしない工法を選択します。基地局建設の必要性をご理解いただきながらも環境影響を最小にするため、自治体や近隣の方々との信頼関係を第一義に取り組んでいます。

| 取り組み |

海底ケーブル保守の音響技術を活用したイルカの観測

KDDI研究所は、大陸間をつなぐ海底ケーブルの保守点検で培った音響技術を活かし、東京大学生産技術研究所、インド工科大学デリー校、WWFインドアと共同で、ガンジスカワイルカの生態観測を行っています。

ガンジスカワイルカは、ガンジス川流域に生息するイルカで、その数は約2,000頭と絶滅が危惧されています。濁った水中に住む彼らは、周囲の環境を把握するためにクリック音と呼ばれる高い周波数帯の超音波を発しています。この超音波をキャッチすることで、水中行動を把握することが調査の狙いです。音による生態観測は、身体に触れる必要がないため生態への影響が少なく、不特定多数の個体の観測ができるなどのメリットがあります。

2006年から音響観測を駆使した調査を開始し、現在も持続的に活動を継続しています。川に生息するイルカは各地で絶滅の危機にひんしており、今後も継続して調査を進めていきます。

お客さま・社員とGreen (Green Road Project)

| 取り組み | 社員の環境保全活動

2014年度の主な環境保全活動



生物多様性

| 取り組み | 高尾山環境保全活動

KDDIは、2013年度から高尾山（東京都八王子市）を関東地区での長期的な環境保全活動地として指定し、活動を継続しています。



間伐作業に取り組む KDDI 社員

2014年度は7月、9月、11月の3回、KDDIグループ社員とその家族らがボランティアとして参加し、高尾グリーン倶楽部（高尾山を中心に活動する自然保護団体）と協働で、ヒノキ林での除伐・間伐、間伐材を利用した木工作業などに汗を流しました。また、新たな取り組みとして、東京都立工芸高等学校の生徒の皆さんと産学連携の活動を行いました。一緒に間伐したヒノキ材を有効活用し、生徒の皆さんがベンチを製作し、活動地近くの老人ホームなどに寄贈しました。

| 取り組み | 国産材利用への貢献

KDDIは、2014年11月、林野庁が推進する二酸化炭素排出量削減を目的とした「木づかい運動」の普及に対する貢献が評価され、通信事業者として初めて、農林水産大臣感謝状を受章しました。全国のauショップでリサイクル回収を行った携帯電話の取扱説明書や各種説明チラシの古紙売却金を活用し、社員も参加して全国各地の森林の環境保全活動を支援しています。また、森林保全活動の一環で排出された国産間伐材を用いて、「木づかい運動ロゴマーク」を取得したカタログスタンドやノベルティグッズ等の製作を積極的に実施しました。